

参 考 文 献

- 赤羽一郎 1977年 「常滑——知多半島古窯址群」『世界陶磁全集 3 日本中世』
- 石田志朗・中村徹也 1972年 『京都大学理学部構内遺跡調査の概要』
- 泉 拓良 1977年 「京都大学植物園遺跡」『仏教芸術』115号
- 1978年 「京都大学北部構内の地形復原——縄文時代から弥生時代——」『京都大学構内遺跡調査研究年報 昭和52年度』
- 1980年 「医学部構内遺跡の発掘調査」『京大広報』No. 189
- 伊勢田進 1966年 「南紀白浜町瀬戸臨海発見の石棒」『田辺文化財』10
- 五十川伸矢 1980年 「本部構内遺跡の発掘調査」『京大広報』No. 206
- 上原真人 1978年 a 「古代末期における瓦生産体制の変革」『古代研究』13・14
- 1978年 b 「瓦」『京都大学埋蔵文化財調査報告 第1冊——京大農学部遺跡B G 36区——』
- 宇佐晋一 1956年 「緑釉土器窯址本山遺跡とその周辺」『古代学研究』15, 16合併号
- 宇野隆夫 1978年 「京大病院遺跡出土の土器——古代末から中世——」『京都大学構内遺跡調査研究年報 昭和52年度』
- 1979年 「鴨東の開発——平安京と京近郊——」『京都大学構内遺跡調査研究年報 昭和53年度』
- 1981年 「遺物の考察」『京都大学埋蔵文化財調査報告Ⅱ——白河北殿北辺の調査——』
- 梅原末治 1923年 「京都帝国大学農学部敷地ノ石器時代遺跡」『京都府史蹟勝地調査会報告 第5冊』
- 1935年 「京都北白川小倉町石器時代遺跡調査報告」『京都府史蹟名勝天然記念物調査報告 第16冊』
- 1936年 『摂津阿武山古墓調査報告』『大阪府史蹟名勝天然記念物調査報告 第7輯』
- 1938年 「北白川廃寺趾」『京都府史蹟名勝天然記念物調査報告 第19冊』
- 円勝寺発掘調査団 1971年 「円勝寺の発掘調査(上)」『仏教芸術』82号
- 岡田保良 1979年 「京都大学構内遺跡と京・白河」『京都大学構内遺跡調査研究年報 昭和53年度』
- 1981年 「遺構の考察」『京都大学埋蔵文化財調査報告Ⅱ——白河北殿北辺の調査——』
- 小野山節・都出比呂志 1973年 『高槻市安満遺跡の条里遺構』
- 堅田 修 1965年 「藤原道長の浄妙寺について」『撰関時代史の研究』
- 兼康保明 1978年 『靈山遺跡発掘調査概要』
- 烏丸調査会 (京都市高速鉄道烏丸線内遺跡調査会)
- 1975年 『烏丸線内遺跡調査抄報 Vol. 7』
- 1976年 a 『烏丸線内遺跡調査抄報 Vol. 11』
- 1976年 b 『烏丸線内遺跡調査抄報 Vol. 13』

- 1980年 『京都市高速鉄道烏丸線内遺跡調査年報Ⅰ 1974・75年度』
- 川上 貢 1977年 「京都大学構内における史跡の文献的考察」『京都大学構内遺跡調査研究年報 昭和51年度』
- 元興寺仏教民俗資料研究所 1976年 『元興寺極楽坊Ⅰ』『日本仏教民俗基礎資料集Ⅰ』
- 木村捷三郎 1930年 「山城幡枝発見の瓦窯址——延喜式に見えたる栗栖野瓦屋——」『史林』第5巻第4号
- 京大調査会（京都大学農学部構内遺跡調査会・京都大学理学部附属瀬戸臨海実験所構内遺跡調査会）
1977年 『京都大学構内遺跡調査研究年報 昭和51年度』
- 京大埋文研（京都大学埋蔵文化財研究センター）
1978年 a 『京都大学構内遺跡調査研究年報 昭和52年度』
1978年 b 『京都大学埋蔵文化財調査報告 第1冊——京大農学部遺跡B G 36区——』
1979年 『京都大学構内遺跡調査研究年報 昭和53年度』
1980年 『京都大学構内遺跡調査研究年報 昭和54年度』
1981年 『京都大学埋蔵文化財調査報告Ⅱ——白河北殿北辺の調査——』
- 京都市文化観光局文化財保護課 1980年 『京都市遺跡試掘・立合調査報告』
- 京都大学考古学研究会 1971年 『嵯峨野の古墳時代』
- 京都府教委（京都府教育委員会）
1966年 「がんぜんどう廃寺跡発掘調査概要」『埋蔵文化財発掘調査概報 1966』
1980年 「平安京跡(左京内膳町)昭和54年度発掘調査概要」『埋蔵文化財発掘調査概報1980』
- 京文研（京都市埋蔵文化財研究所）
1977年 『常盤東ノ町古墳群』『京都市埋蔵文化財研究所調査報告-Ⅰ』
1978年 a 『長岡京跡発掘調査報告』『京都市埋蔵文化財研究所調査報告-Ⅱ』
1978年 b 『常盤仲ノ町集落跡発掘調査報告』『京都市埋蔵文化財研究所調査報告-Ⅲ』
1978年 c 『平安京跡発掘調査概報』『京都市埋蔵文化財研究所概報集 1978-Ⅱ』
1980年 a 『京都市遺跡地図』
1980年 b 『平安京跡発掘資料選』
- 古代学協会 1979年 『法住寺殿跡発掘調査概要』
- 佐藤昌憲・山田武 1977年 「出土陶器の胎土分析について」『同志社中学校体育館建設予定地発掘調査概要』『同志社大学校地学術調査委員会資料 No. 10』
- 佐藤昌憲・山田武・鈴木重治 1978年 「出土陶器の化学分析Ⅱ」『同志社キャンパス内出土の遺構と遺物』『同志社校地内埋蔵文化財調査報告資料編Ⅱ』
- 島田貞彦 1924年 「京都市北白川這分町発見の石器時代遺跡」『考古学雑誌』第14巻第5号
- 島田貞彦・水野清一・小川五郎・三宅宗悦 1929年 「摂津国高槻「摂津農場」石器時代遺跡調査報告」『人類学雑誌』第44巻第7号

- 清水芳裕 1973年 a 「縄文時代の集団領域について」『考古学研究』第19巻第4号
1973年 b 「縄文土器の岩石学的研究」『湖西線関係遺跡調査報告』
1977年 「岩石学的方法による産地同定」『考古学と自然科学』第10号
- 白石太一郎 1975年 「考古学より見た日木の墓地」『日本古代文化の探究 墓地』
- 菅原正明・雨宮克彦・安田博幸・沢田正昭・秋山隆保・佐原真 1980年 「生駒西麓の土器」『東山遺跡
本文編』
- 杉山信三 1954年 「吉田寺について」『史迹と美術』242号
1962年 『院の御所と御堂——院家建築の研究——』『奈良国立文化研究所学報 第11冊』
- 平良泰久 1978年 「吉田近衛町遺跡発掘調査概要」京都府教育委員会『埋蔵文化財発掘調査概報
1978』
- 高槻市教育委員会 1980年 『上牧遺跡発掘調査報告書』『高槻市文化財調査報告書 第13冊』
- 田中勝弘 1973年 「京都市東山区渋谷出土の骨壺」『古代文化』第25巻第10号
- 田中久夫 1975年 「文献にあらわれた墓地——平安時代の京都を中心として——」『日本古代文化の
探究 墓地』
- 圭室諦成 1933年 「葬式法要の発生とその社会経済史的考察」『日本宗教史研究』
1963年 『葬式仏教』
- 近重真澄 1918年 「東洋古銅器の化学的研究」『史林』第3巻第2号
1919年 「化学上より観たる東洋上代の文明」『史林』第4巻第2号
- 角田文衛 1969年 「村上源氏の蟹域」『古代学』第16巻第2・3・4号
- 同志社調査会（同志社大学校地学術調査委員会）
1976年 『同志社女子大学図書館建設予定地発掘調査概要』『同志社大学校地学術調査委員
会資料 No. 8』
- 鳥羽離宮跡調査研究所 1974年 『栢杜遺跡調査概報』
1976年 「住宅公園花園鷹司同地建設敷地内埋蔵文化財発掘調査概報」『埋蔵文化財発掘調
査概報集 1976』
- 中臣遺跡発掘調査団 1974年 『中臣遺跡』『京都市埋蔵文化財年次報告 1974-Ⅲ』
- 中村徹也 1973年 『京都大学農学部総合館周辺埋蔵文化財発掘調査の概要』
1974年 a 『京都大学農学部総合館北棟建設予定地内埋蔵文化財発掘調査の概要Ⅰ』
1974年 b 『京都大学理学部ノートバイオトロン実験装置室新営工事に伴う埋蔵文化財発
掘調査の概要』
1975年 『京都大学農学部総合館北棟建設予定地内埋蔵文化財発掘調査の概要Ⅱ』
- 奈良研（奈良国立文化財研究所）
1962年 『平城宮発掘調査報告Ⅳ』、『奈良国立文化財研究所学報 第17冊』
1976年 a 『平城宮発掘調査報告Ⅶ』、『奈良国立文化財研究所学報 第26冊』

- 1976年b 『平城京左京八条三坊発掘調査概報 東市周辺東北地域の調査』
- 浪貝毅・梶川敏夫編 1976年 『北白川廃寺塔跡発掘調査報告』
- 檜崎彰一 1965年 「古代末期の窯業生産」『日本史研究』第79号
- 1975年 『日本の陶磁 古代中世篇 第2巻』
- 1976年 『猿投窯』『陶器全集31』
- 檜崎彰一・山崎一雄・飯田哲男 1981年 「陶磁器の釉薬及び胎土の成分から見た産地同定の研究」『考古学・美術史の自然科学的研究』
- 乘安和二三 1976年 「化野念仏寺境内の蔵骨器」『古代文化』第28巻第9号
- 林屋辰三郎 1957年 「藤原道長の浄妙寺について」『古代国家の解体』
- 原 充 1980年 「京都大学構内出土の旧石器」『京都大学構内遺跡調査研究年報 昭和54年度』
- 樋口隆康 1961年 「京都嵯峨野広沢古墳」『京都府文化財調査報告 第22冊』
- 平尾政幸 1978年 「平安宮左兵衛府」『京都市埋蔵文化財研究所概報集 1978-Ⅲ』
- 藤岡謙二郎 1973年 「北白川扇状地と教養部構内発見の遺物包含層並びにその先史地理学的意義」『人文』第19集
- 1978年 「北白川扇状地と京都大学構内遺跡」『京都大学構内遺跡調査研究年報 昭和52年度』
- 文化庁監 1976年 『重要文化財29 考古Ⅱ』
- 平安京調査会 1975年 『平安京発掘調査報告——左京四条一坊——』
- 星野猷二 1956年 「ガンゼンドウ」『古代学研究』15, 16合併号
- 三辻利一 1981年 「胎土分析による土器の産地推定：螢光X線法」「土器の微量成分と産地推定：放射化分析」『考古学・美術史の自然科学的研究』
- 三辻利一・清水芳裕 1981年 「橋脚MP-1区出土難波宮瓦の産地同定」『難波宮址の研究 第7 報告篇』
- 向日市教委（向日市教育委員会・長岡京跡発掘調査研究所）
- 1979年 「中海道遺跡発掘調査報告」『向日市埋蔵文化財調査報告 第3集』
- 山崎一雄 1962年 「質と量との研究」『世界考古学大系16 研究法・索引』
- 横田賢次郎・森田勉 1978年 「大宰府出土の輸入中国陶磁器について——型式分類と編年を中心にして——」『九州歴史資料館研究論集4』
- 横山浩一・佐原真 1960年 『京都大学文学部博物館考古学資料目録 第1部 日本先史時代』
- 和田 萃 1976年 「東アジアの古代都城と葬地——喪葬令皇都条に関連して——」『大阪歴史学会二十五周年記念 古代国家の形成と展開』
- 渡辺直経 1976年 「考古学からみた化学」『化学と工業』第29巻第12号

京都大学構内遺跡調査要項

京都大学埋蔵文化財研究センター要項

- 第1条 京都大学に埋蔵文化財研究センター（以下「センター」という。）を置く。
- 第2条 センターは、京都大学敷地内の埋蔵文化財についての調査研究及びその保存のため必要な業務を行う。
- 第3条 センターにセンター長を置く。
- 2 センター長は、京都大学の専任の教授をもって充てる。
- 3 センター長の任期は、2年とし、再任を妨げない。
- 4 センター長は、センターの所務を掌理する。
- 第4条 センターに、必要に応じて、助教授、助手その他の職員を置く。
- 第5条 センターに、調査研究及び保存に関する業務を処理するため、研究部を置く。
- 2 研究部に主任を置き、前条の教官をもって充てる。
- 3 主任は、研究部の業務をつかさどる。
- 第6条 センターに、センターの事業に関する基本的計画、人事その他管理運営に関する重要事項を審議するため、運営協議会を置く。
- 2 運営協議会は、次の各号に掲げる委員で組織する。
- (1) センター長
- (2) センターの研究部の主任
- (3) 前2号以外の学識経験者のうちから総長の委嘱した者 若干名
- (4) 事務局長及び施設部長
- 3 センター長は、運営協議会を招集し、議長となる。
- 4 前各項に規定するもののほか、運営協議会の運営に関し必要な事項は、運営協議会が定める。
- 第7条 この要項に定めるもののほか、センターの組織及び運営に関し必要な事項はセンター長が定める。

センター長	樋口隆康（文学部教授）	運営協議会委員	谷村定雄（施設部長）
運営協議会委員	上田正昭（教養部教授）	研究部主任	泉拓良（文学部助手）
〃	池田次郎（理学部教授）	研究部研究員	清水芳裕（文学部助手）
〃	川上貢（工学部教授）	〃	五十川伸矢（文学部助手）
	（～10月14日）	〃	浜崎一志（工学部助手）
〃	西川幸治（工学部教授）	〃	吉野治雄（施設部技術補佐員）
〃	石田志朗（理学部助教授）	事務室	大八木邦雄（施設部事務官）
〃	大塚喬清（事務局長）	〃	梅川厚子（施設部技術補佐員）

京都大学構内遺跡調査会規約

- 第1条 この会は、京都大学構内遺跡調査会（以下「調査会」という。）と称し、京都大学の委託により同大学構内における建築物新営工事等に伴い必要な敷地内の遺跡調査を行うことを目的とする。
- 第2条 調査会は、事務所を京都市左京区北白川西町財団法人阪本奨学会内に置く。
- 第3条 調査会は、第1条の目的を達成するために次の事業を行う。
- (1) 京都大学の委託により行う当該敷地内の埋蔵文化財についての発掘調査
 - (2) 前号の調査により出土した埋蔵文化財の保存、管理に関する事項の審議
 - (3) 埋蔵文化財の調査に関する発掘調査概要報告書の作成
 - (4) その他必要とする事項
- 第4条 調査会に次の役員を置く。
- (1) 会長1名
 - (2) 委員
イ 京都大学の学識経験者 若干名
ロ 新営工事等の敷地の属する京都大学の部局の長または部局附属施設の長
ハ 新営工事等の敷地の所在する地域の文化財保護行政当局の推薦する者 若干名
 - (3) 監事 若干名
- 2 会長は、前項第2号イの委員の推薦する者とする。
 - 3 委員及び監事は、会長が委嘱する。
 - 4 第1項第2号ロ及びハの委員は、当該敷地内の遺跡調査に関する委員としての任務が終わったときは、退任する。
- 第5条 会長は、調査会を代表し、業務を総括する。
- 2 委員は、委員会を構成し、委員会の議決に基づく業務を執行する。
 - 3 監事は、調査会の会計を監査する。
- 第6条 委員会は、会長及び委員をもって組織する。
- 2 委員会は、会長が招集し、議長となる。
 - 3 委員会は、新営工事等の敷地が京都市以外の地域にある場合で、必要と認めたときは、部会を置くことができる。
- 第7条 第3条の発掘調査の実施に当たるため、調査会に調査班を置く。
- 2 調査班は、調査班長、調査員及び調査補助員をもって組織する。
 - 3 調査班長は、委員会の議に基づき会長が委嘱する。
 - 4 調査員及び調査補助員は、調査班長の推薦により会長が委嘱する。
- 第8条 調査会の事務を処理するため、調査会に事務局を置く。
- 2 事務局に職員若干名を置く。
 - 3 職員は、会長が任免する。
- 第9条 調査会の経費は、京都大学から支出される調査委託費をもって充てる。

第10条 調査会は、4月1日に始まる年度ごとに、事業報告書及び収支決算書を作成し、監事の監査を経て、年度終了後3月以内に委員会の承認を受けるものとする。

第11条 この規約に定めるもののほか、調査会の運営に関し必要な事項は、会長が定める。

会長 亀井節夫（理学部教授）（～10月14日）
川上貢（工学部教授）（10月15日～）

委員 樋口隆康（文学部教授） 足利健亮（教養部助教授）
西川幸治（工学部教授） 泉拓良（文学部助手）
石田志朗（理学部助教授） 小野真海（事務局庶務部長）
西村進（理学部助教授）

規約第4条1項(2)ロ 早石修（医学部長） 加藤幹太（理学部長）
西島安則（工学部長）

規約第4条1項(2)ハ 山下利弘（京都市埋蔵文化財調査センター所長）

監事 藤原茂男（施設部企画課長） 伊佐憲治（医学部事務長）
岸田哲二（工学部経理課長） 堀内祥二（理学部事務長）

事務局員 大八木邦雄（施設部事務官） 川野美栄子（調査会事務局員）
梅川厚子（施設部技術補佐員） 中村美代（調査会事務局員）

京都大学構内遺跡調査会丹波町部会

会長 川上貢（工学部教授）

委員 樋口隆康（文学部教授） 泉拓良（文学部助手）
石田志朗（理学部助教授）

規約第4条1項(2)ロ 苦名孝（農学部教授） 並河澄（農学部附属牧場長）
規約第4条1項(2)ハ 東条壽（京都府文化財保護課長） 徳岡孫太郎（丹波町教育長）

監事 藤原茂男（施設部企画課長） 岩井良吉（農学部事務長）

調査班長・主任 泉拓良，清水芳裕，五十川伸矢，浜崎一志，吉野治雄

調査協力者 岡田保良（国上館大学講師），高橋美久仁（京都府文化財保護課技官）

調査員 鎌田博子，河村善也，三宮友志，竹村恵二，田中はる代，津隈久美子，原充，増井正哉

調査補助員 岩堀美香，上田佳子，小笠原義治，小川晃代，岸本和幸，鷺見普照，田中元昭，谷なぎさ，谷美之，玉田芳英，中原有美乃，信氏喜久子，長谷川洋子，福井美也子，藤井肇，藤沢かおる，藤村淳子，前島克彦，南秀雄，宮川禎一，宮本一夫

作業員 赤沢俊男，荒木修次，池田イシ，五十棲彰男，井上孝一，上田千鶴子，小原祥一，折竹トミ子，片山きくえ，片山正幸，木村栄三郎，小寺末之，坂下芳春，坂本智恵子，佐藤はつえ，榎木まつ，新宮香代子，杉森まちの，世木龟吉，世木慎一，善林ひろみ，竹下チエ子，寺井万年，中嶋正雄，中村コト，中村皓子，橋本庄次，橋本俊夫，福井長治，福田文治，藤木チエ子，船越修，松村富美子，松山壮子，三浦信一，湊立枝，安田秀男，山内寛次郎，山下照子，山本ハツエ，山本定枝，横山和枝，吉田龍三郎

現場事務局員 小原曉子，文字幸子

（職員は就任当時のものを用い，京都大学の職員に関しては大学名を省略した）

本部構内 A T 27区第 1 次調査班

所在地 京都市左京区吉田本町
 工事名 本部構内実験排水槽新営
 発掘期間 昭和55年2月1日～同3月31日
 面積 400m²
 班長 五十川伸矢
 調査員 津隈久美子
 調査補助員 2名
 作業員 7名

本部構内 A T 27区第 2 次調査班

所在地 京都市左京区吉田本町
 工事名 本部構内実験排水槽新営
 発掘期間 昭和55年6月23日～同7月25日
 面積 115m²
 班長 泉拓良
 調査員 鎌田博子, 津隈久美子
 調査補助員 1名
 作業員 10名

本部構内 A X 28区調査班

所在地 京都市左京区吉田本町
 工事名 工学部電気系学科校舎新営
 発掘期間 昭和55年7月21日～同11月21日
 面積 1120m²
 班長・主任 泉拓良, 五十川伸矢, 浜崎一志
 調査協力者 岡田保良
 調査員 竹村恵二, 田中はる代, 増井正哉,
 津隈久美子
 調査補助員 9名
 作業員 12名

農学部附属牧場新営予定地調査班

所在地 京都府船井郡丹波町蒲生野
 工事名 農学部附属牧場施設新営
 発掘期間 昭和55年11月25日～同12月27日

面積 1468m²
 班長・主任 泉拓良, 清水芳裕, 五十川伸矢,
 浜崎一志, 吉野治雄
 調査員 津隈久美子, 田中はる代
 作業員 27名

教養部構内 A O 21区調査班

所在地 京都市左京区吉田二本松町
 工事名 教養部構内実験排水槽新営
 発掘期間 昭和56年2月20日～同3月14日
 面積 112m²
 班長・主任 泉拓良, 吉野治雄
 調査員 津隈久美子
 作業員 5名

工学部建築学教室新営予定地試掘調査

所在地 京都市左京区吉田本町
 試掘期間 昭和55年3月26日～同3月31日
 面積 25m²
 担当者 西川幸治, 浜崎一志

病院東構内和進会館移転予定地試掘調査

所在地 京都市左京区聖護院川原町
 試掘期間 昭和55年1月21日～同1月27日
 面積 46m²
 担当者 泉拓良

教養部構内吉田食堂新営予定地試掘調査

所在地 京都市左京区吉田二本松町
 試掘期間 昭和55年1月30日～同2月7日
 面積 42m²
 担当者 泉拓良

医学部特殊 R I 実習室新営予定地試掘調査

所在地 京都市左京区吉田橋町
 試掘期間 昭和54年12月10日～同12月18日
 面積 23m²
 担当者 泉拓良

教養部構内実験排水槽設置予定地試掘調査

所在地 京都市左京区吉田本町
 試掘期間 昭和55年5月12日～同5月20日
 面積 24m²
 担当者 泉拓良, 浜崎一志

病院西構内給水センター設置予定地試掘調査

所在地 京都市左京区聖護院川原町
 試掘期間 昭和55年6月5日～同6月12日
 面積 34m²
 担当者 泉拓良, 浜崎一志

医学部構内実験排水槽設置予定地試掘調査

所在地 京都市左京区吉田橋町
 試掘期間 昭和55年5月21日～同5月23日
 面積 12m²
 担当者 泉拓良, 浜崎一志

病院東構内内科総合病棟新営予定地試掘調査

所在地 京都市左京区聖護院川原町
 試掘期間 昭和55年6月12日～同6月24日
 面積 115m²
 担当者 清水芳裕, 吉野治雄

病院東構内給水管埋設予定地試掘調査

所在地 京都市左京区聖護院川原町
 試掘期間 昭和55年5月21日～同5月23日
 面積 8m²
 担当者 泉拓良, 浜崎一志

国際交流会館新営予定地試掘調査

所在地 京都市左京区山端孝丁田町
 試掘期間 昭和55年8月4日～同8月6日
 面積 88m²
 担当者 泉拓良

京都大学構内遺跡調査の構成

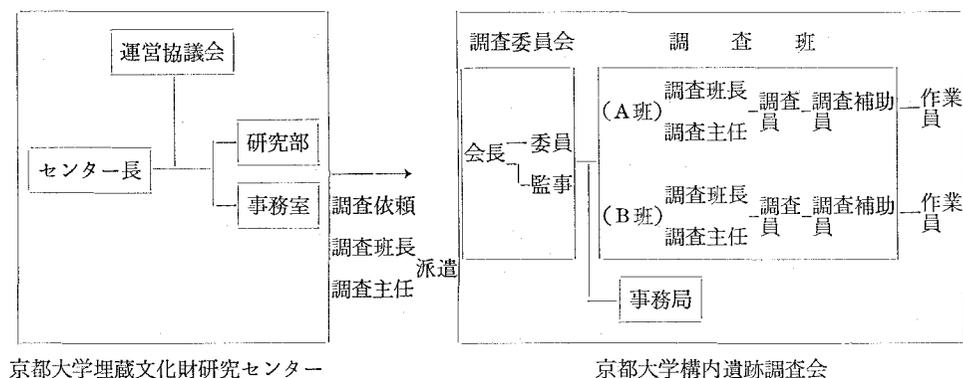


表6 京都大学構内遺跡のおもな調査

(地点は図版1を参照, 文献中「埋」は京大埋文研, 「調」は京大調査会をさす。)

年 度	遺 跡 名 称	地 点	担 当 者	調 査 の 種 類	面 積 (m ²)	遺 構	遺 物	文 献	備 考
大正12年	農 学 部	1・2	浜田 耕作	表採・試掘			縄文土器, 石器	梅原23 島田24	
13年	農 学 部	不明	藤本理三郎				石 棒	横山・佐原60	
昭和9年	大阪府阿武山古墓		梅原 末治	発 掘			乾漆棺, 玉飾枕	梅原36	
10年	北白川小倉町		梅原 末治				縄文土器, 石器	梅原35	
31年	農 学 部	3	羽館 易	採 集			縄文土器		
46年	農 学 部	4	石田 志朗	採 集			弥生土器	埋79	
47年	農 学 部	5		採 集			石 棒		
	大阪府満安		小野山 節都 出比呂志	事前発掘	1500	条里の溝	弥生土器, 石器	小野山・都出73	建物をつらぬき条里の溝を保存
	追分地蔵	6	石田 志朗 中村 徹也	事前発掘	600		弥生土器, 石器	石田・中村72	
	教養部	7	藤岡謙二郎	工事中採集・実測			縄文土器	藤岡73	
48年	農 学 部	8	中村 徹也	事前発掘	13	瓦 溜	縄文土器, 瓦(平安)	埋78b	瓦溜埋戻し
	農 学 部	9	中村 徹也	事前発掘	600		縄文土器, 土師器	中村73	
	農 学 部	10	中村 徹也	事前発掘	40		縄文土器		
	植 物 園	11	中村 徹也	事前発掘	400	縄文後期甕棺・配石遺構	縄文土器	中村74b 泉77	甕棺・配石遺構の移築を決定
49年	農 学 部	12	中村 徹也	事前発掘	800		縄文土器	中村74a	
	農 学 部	13	中村 徹也	事前発掘	800		縄文土器	中村75	
50年	教養部	14	小野山 節都 中村 徹也	事前発掘	750		縄文土器		
51年	農 学 部 BE33区	16	泉 拓良	事前発掘	900	縄文晩期土壇墓	縄文土器, 土師器, 瓦	調77	
	病 院 AE15区	19	岡田 保良	事前発掘	2200	古代・中世池, 溝, 土器溜	土師器, 瓦, 陶磁器	調77, 埋81	
	植 物 園 BD35区	29	吉野 治雄	保 存				調77	甕棺・配石の移築復原

年度	遺跡名 調査名	地点	担当者	調査の 種類	面積 (m ²)	遺構	遺物	文献	備考
昭和51年	病院 A H17区	34	泉 拓良	事前発掘	200	近世溝, 井戸, 集 石	土師器, 瓦	埋78 a	
	和歌山県 瀬戸		丹羽 佑一	事前発掘	300	縄文時代 土壙墓	縄文土器, 人骨	埋78 a	
52年	病院 A F14区	39	岡田 保良 宇野 隆夫	事前発掘	800	古代・中世 護岸, 溝, 井戸	土師器, 瓦 陶磁器	埋78 a, 埋81	
	医学部 A O18区	41	泉 拓良 吉野 治雄	事前発掘	1200	中世溝, 土器溜, 井戸	土師器, 瓦 陶磁器	埋78 a	
53年	理学部 B E29区	54	岡田 保良 吉野 隆夫 宇野 隆夫	事前発掘	500	弥生中期 方形周溝 墓, 中世 火葬塚	弥生土器, 土師器, 瓦	埋79	火葬塚と方 形周溝墓を 現地保存
	農学部 B G32区	55	泉 拓良 宇野 隆夫	事前発掘	100	古代土坑, 溝	縄文土器, 土師器	埋79	
	農学部 B G31区	56	泉 拓良 宇野 隆夫	事前発掘	650	縄文晩期 埋没林	縄文土器	埋80	
	本部 A W28区	57	岡田 保良 吉野 治雄	事前発掘	500	近世白川 道	陶磁器, 土 師器, 銭貨	埋80	
54年	本部 A Z30区	71	西川 幸治 浜崎 一志	試掘	30	中世溝	土師器, 瓦 瓦器	埋80, 第5章	
	病院 A K18区	72	泉 拓良	試掘	46	中世土坑, 井戸	土師器	第5章	発掘調査決 定
	教養部 A P22区	73	泉 拓良	試掘	40	中世井戸, 土器溜	土師器, 瓦 器, 白磁	第5章	発掘調査決 定
	医学部 A P19区	74	清水 芳裕 吉野 治雄 五十川 伸矢	事前発掘	2776	中世井戸, 溝, 土器溜	土師器, 瓦, 陶磁器, 旧 石器	第3章	
	本部 A T27区	75	五十川 伸矢	事前発掘	400	奈良後期 竪穴住居 中世土壙 墓, 近世 道路	土師器, 須 恵器, 白磁	第4章	竪穴住居跡 を現地保存
	医学部 A L20区	83	泉 拓良	試掘	23	中世土坑	土師器	第5章	発掘調査決 定
55年	教養部 A O21区	84	泉 拓良 浜崎 一志	試掘	24	中世井戸	土師器, 瓦 器, 白磁	第5章	発掘調査決 定
	医学部 A L17区	85	泉 拓良 浜崎 一志	試掘	12			第5章	遺跡なし
	病院 A K16区	86	泉 拓良 浜崎 一志	試掘	8			第5章	遺跡なし

年 度	遺 構 名	地 点	担 当 者	調 査 の 種 類	面 積 (m ²)	遺 構	遺 物	文 献	備 考
昭和55年	病 院 A G 14区	87	泉 拓良 浜崎 一志	試 掘	34			第5章	遺跡なし
	病 院 A J 17区	88	清水 芳裕 吉野 治雄	試 掘	115	中世溝	土 師 器	第5章	発掘調査決定
	左 京 区 山 端		泉 拓良	試 掘	88				遺跡なし
	本 部 A T 27区	89	泉 拓良	事前発掘	115	近世道路 堀	土師器, 近 世陶磁器	第4章	
	本 部 A X 28区	90	泉 拓良 五十川伸矢 浜崎 一志	事前発掘	1120	近世白川 道, 中世 土器溜, 井戸, 建 物	土師器, 瓦, 陶磁器, 銅 鏃(弥生), 磨製石鏃		整理中
	京 都 府 美 月		泉 拓良 清水 芳裕 五十川伸矢 浜崎 一志 吉野 治雄	事前発掘	1468	弥生中・ 後期水路, 土坑, 中 世土器溜	弥生土器, 打製石斧, 瓦器, 陶磁 器		立合調査中 に遺跡を発 見, 工事を 中断し発掘 調査
	教 養 部 A O 21区	91	吉野 治雄	事前発掘	112	中世井戸, 土壙墓	土師器, 瓦 器, 陶磁器		整理中
	理 学 部 B G 30区	92	五十川伸矢	立 合					工事続行
	教 養 部 A M 22区	93	吉野 治雄	立 合		火葬墓, 石列	瓦器, 陶器	第5章	実測後, 工 事続行
	医 学 部 A Q 20区	94	泉 拓良	立 合			土 師 器		工事続行
	全 構 内 給 水 管	95	吉野 治雄	立 合		近世白川 道		第5章	工事続行
	本 電 気 管	96	清水 芳裕	立 合			縄文土器	第5章	工事続行
	病院・北 部ガス管	97	五十川伸矢	立 合					工事続行
	本 部 実験排水	98	清水 芳裕	立 合					工事続行
	本 部 通信施設	99	五十川伸矢	立 合		近世白川 道		第5章	工事続行
	北 部 B F 29区	100	泉 拓良	立 合					工事続行
	北部ヘリ ウム管	101	清水 芳裕	立 合					工事続行
	北 部 B G 37区	102	泉 拓良	立 合			土 師 器		工事続行